



稚内のシンボルが
90年の
時を刻む。

稚内港の歴史とともに歩んだ北防波堤ドーム。
その誕生の物語から、みなと町稚内の歩みまで、
専門家がご紹介します。

稚内港北防波堤ドーム 竣工**90**周年 記念講演会

北防波堤ドームの歴史や稚内開発建設部の事業を
紹介するパネル展も開催します。

参加費
無料

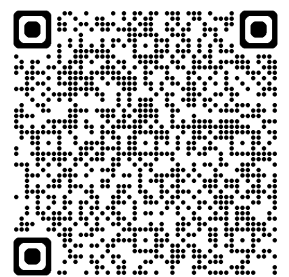
日時 令和8年**9**月**4**日(金) 15:00~17:00
(開場14:15)

会場 稚内総合文化センター 小ホール
(稚内市中央3丁目13番23号)
※会場の駐車場は台数に限りがございます。

定員 先着**150**名(事前申込制)

主催 稚内港北防波堤ドーム竣工90周年記念事業実行委員会
共催 北海道開発局稚内開発建設部
問合せ 稚内開発建設部稚内港湾事務所 TEL:0162-33-2758

お申し込みはこちら



申込締切:8月24日(月)

※定員になり次第締め切ります。



北海道遺産
北防波堤ドームの歴史



古地図や写真で
見る稚内の変遷



港づくりと
まちづくりの物語



専門家による
わかりやすい講演



参加無料
お気軽にご参加ください

北防波堤ドームを語る スペシャリストたち

歴史・まちづくり・港湾の第一人者が集結



斉藤 譲一 氏

稚内市教育委員会 学芸員

宗谷地域の歴史文化を専門とし、資料調査、展示解説、講座活動などを通じて地域資源の普及に取り組む。
2023年9月16日放送のNHK「ブラタモリ(稚内編)」に出演し、宗谷丘陵や海岸地形、北方史に関する解説を担当した。

ブラタモリ
出演



富田 伸司 氏

稚内市歴史・まち研究会 会長

地域史・郷土史の研究と歴史的建造物の保存活動に取り組み、旧海軍の施設であった稚内赤れんが通信所の修復・活用を中心に市民主体のまちづくり活動を推進。
宗谷地域の開拓史や戦争遺構の歴史的意義を伝える語り部として、講演や公開見学会で活動している。

郷土史
専門家



関口 信一郎 氏

(一社)寒地港湾空港技術研究センター
特別調査役

元・国土交通省北海道開発局職員として港湾行政に従事し、道内各地の港湾・海岸事業の計画、整備、維持管理に携わる。
現在は港湾技術者として寒冷地港湾の調査研究を行うとともに、北海道の港湾史・築港技術史の研究や講演活動を通じ、港湾と地域形成の関係について発信している。

港湾史
研究者



当日のプログラム

15:00～

オープニング
北防波堤ドームの変遷

15:10～

稚内港のあゆみ
北原 政宏
(北海道開発局稚内開発建設部 部長)

15:25～

地図からみた
稚内港北防波堤ドーム
斉藤 譲一 氏
(稚内市教育委員会 学芸員)

15:50～

国境の街 稚内
幕末から現代
富田 伸司 氏
(稚内市歴史・まち研究会 会長)

16:15～

〈稚内港北防波堤ドーム完成90周年〉
土谷実と北防波堤ドーム
関口 信一郎 氏
(寒地港湾空港技術研究センター
特別調査役)

※内容・順序は変更になる場合があります。

北防波堤ドームとは？

昭和11年(1936年)の竣工以来、稚内港を荒波から守り続けてきた半アーチ型構造の防波堤。約70本の列柱が連なるその姿は、北海道遺産にも選定され、稚内を代表する景観となっています。



参加無料

事前申込制(先着150名)

お申し込みは表面のQRコードから!

